

神田外語大学言語科学研究科

# 公開講座

オンライン開催

## 課題遂行を目的とした 日本語読解教材の 特徴と開発

講師：上原由美子

神田外語大学 留学生別科准教授

同日13:30～14:30に本学大学院説明会を開催いたします。詳しくは下記URLまたはQRコードより、ホームページをご覧ください。

＜神田外語大学大学院 入試説明会＞

<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/opencampus/extension/>



お問合せ（教務部大学院入試担当）

MAIL:infograd-kuis@ml.kandagaigo.ac.jp

TEL:043-273-1320

7/12

（土）

15:00-16:30

### お申込み

下記URLまたはQRコードよりお申し込みください。申込期間終了後にご登録のメールアドレス宛に接続先等の詳細をご案内します。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。ご参加を心よりお待ちしております。

<https://forms.gle/pU6DNv4APFF147obA>



お申込期限 7/8（火）

## 講演要旨

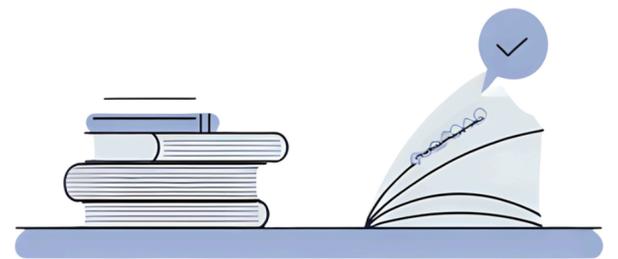
皆さんが学習者として、または教師や支援者として教材を使用する際、「この教材はわかりやすい/わかりにくい」「使いやすい/使いにくい」「ここがこうだったらもっといいのに」など、さまざまな感想を持つことがあると思います。教材は、学習者がわかりやすく学びやすいように、ということはもちろん、教師・支援者や教育機関が使いやすいように、本の場合は出版社が売りやすいようになど、さまざまな要素が考慮され開発されています。

本講座では、特に講演者が国際交流基金日本語国際センターにて開発に携わった、課題遂行を目的としたレベル別の「JFS読解活動集」について、その特徴や開発の背景、開発過程、および「CEFR」「JF日本語教育スタンダード」「Can-do」「日本語教育の参照枠」との関連などについてお話ししながら、日本語教育の教材について、いろいろな角度から考えたいと思います。

## 講師プロフィール

上原由美子

神田外語大学 留学生別科准教授



神田外語大学にて留学生教育、国際交流基金日本語国際センターにて教材開発、教員研修などを担当し、2025年度より神田外語大学留学生別科長。大学院での担当授業は「日本語教育教材研究」。主な研究分野は、日本語学（語彙意味論、アスペクト研究など）と日本語教育。

### 主な業績

教材：『NIHONGO ACTIVE TALK -The First Japanese Textbook for Beginners-』（アスク出版2014共著）、「JFS読解活動集」（編集およびA1シリーズ、A2シリーズの一部執筆2015～2018）、「神田外語大学留学生別科オンライン教材」（2022共編著）

論文：「アスペクトを表すテクル・テイクの多義性と共起制限—事象投射理論による分析—」『言語科学研究：神田外語大学大学院紀要』（2025）、「課題遂行型教材『JFS読解活動集』の開発と評価」（国際交流基金日本語教育紀要2021共著）、「オンラインによるインターアクション日本語教育の可能性：2020年度春学期オンライン授業・活動報告」（共編著2021）、「受益性のない事象における『ていただく』について—『～にしてみよう』構文の機能的分析から—」『70年代生成文法再認識：日本語研究の地平』（開拓社2010）